

古事類苑

人部三十一

俘囚 夷俘 附

俘囚ハ、本ト是レ王民ニシテ、夷賊ノ爲ニ抄略セラレテ、遂ニ賤隸ト成リタル者ヲ謂フナリ、其性狼戾ニシテ、數邊境ニ冠シタリシカバ、朝廷頻リニ之ヲ懷柔シテ、以テ復ビ王化ニ浴セシメ、又諸國ニ移配シテ以テ、其俗ヲ變ジ、華ニ移サシメントセリ、聖武天皇天平八年、陸奥出羽兩國ノ俘囚ニ、始テ位ヲ賜フ、爾來其勳功ヲ賞シ、節義ヲ嘉シテ、位階勳等ヲ授ケ、或ハ俘囚ノ賤號ヲ除キテ、姓ヲ賜ヒシ者尠カラズ、俘囚モ亦能ク其教諭ニ順ヒ、王化ニ歸シテ、新ニ公戸ニ編入セラレンコトヲ請フ者アリキ、然レドモ仍ホ其野心ヲ悛メズシテ、屢反亂ヲ爲シシ者モ亦尠シトセズ、後冷泉天皇ノ時、阿倍賴時及ビ其子貞任ノ反セシガ如キハ、其最タルモノニシテ、朝廷源賴義ヲシテ之ヲ誅伐セシメラレタリ、

名稱

反亂

〔類聚名義抄一〕俘囚 フシユ

〔類聚名義抄人〕俘 音字 トリコ

〔類聚國史百九十風俗〕弘仁五年五月甲子、免除出雲國意宇出雲神門三郡未納稻十六万束、緣有俘囚亂也、

〔續日本後紀十八仁明〕承和十五年二月庚子、上總國馳傳奏俘囚九子廻、毛等叛逆之狀、登時勅符二通發遣、一通賜上總國、一通賜相模、上總、下總等五國、相共討伐、壬寅、上總國馳傳奏斬獲反俘囚五十七